

め ぼ 芽生え



編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL: 0797-77-2040/FAX: 0797-71-1891

「宝塚すみれ隊」ってなあに？

皆さん、「宝塚すみれ隊」をご存知ですか？この「宝塚すみれ隊」は、一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会で知的障がいについての理解を深めてもらうと啓発活動に取り組んでいるグループのことで、今年4月には「障害者差別解消法」が施行され、障がいがある人もない人も分け隔てなく、みんなが互いに人格と個性を尊重しながら共生できる社会をつくること「共生社会」がめざされています。芽生え第12号では、「宝塚すみれ隊」の活動について紹介します。

Q. 「宝塚すみれ隊」が知的障がい者疑似体験の啓発を手掛けようと思ったのは？

A. 障がいがあると聞くと「かわいそう」「大変そう」「ちょっと怖いな」「関わりたくないな」など、人は「知らない」「ことを恐れます。私たちは、障がいのある子の母となり、今まで障がい者に対して偏見があったことに気づきました。障がいがあるということの「暗い」「不幸」といったイメージを変えたい、「正しく知ってもらいたい」と思いました。「どんな障がい？」と周りの人は聞きたいけれど、なかなか聞けない。しかし、私たちは聞いてほしいのです。知ってもらっていたら「楽」なのです。聞いてもらうことを待つのではなく、私たちの方から聞いてください、知ってくださいと出かけて行く「宝塚すみれ隊」を始めました。



A. Q. 活動開始までの準備期間で大変だったことは？

A. 「知的障がい」というのは、目に見えない障がいです。だからこそ疑似体験していただくことでよりわかりやすくなるかと思いましたが、一人ひとり症状は違います。自閉症の人とダウン症の人では、人との関わり方が全く違いますし、物の見方などは全く正反対の見方をします。知的障がいの人たちは「このような人なのです」という答えが一つではないところで、どのように知ってもらうかとても悩みました。

A. Q. 活動開始はいつから？

A. 昨年の12月に、幼稚園の保護者の方から「障がいについてのお話を聞かせてほしい」という依頼がありました。そこで、パワーポイントを使ってお話させていただいたのが始まりです。

A. Q. 活動の効果は？

A. 「宝塚すみれ隊」で行かせていただくときには、いつも私たちの活動のパフレットや機関誌を皆さんにお渡ししています。その中では協力会員の募集をさせていただいているのですが、最近、協力会員になってくださる方が増えてきました。手をつなぐ育成会の活動スローガンは「つながろうわかりあおう」です。「理解の輪」が広がっているのだらうと思います。

A. Q. 「宝塚すみれ隊」の啓発活動で大切にしていることは？

A. 疑似体験が「へえ、そうなんだ」「これは大変だね」で終わってしまわないことです。障がいのある人たちが「どんな気持ちなのか？」まで理解していただけるようにしたいと思っています。

A. Q. 今後、この活動をどのように広げていきますか？

A. 今はおとな向けの疑似体験プログラムですが、今後は子どもたちを対象に、アイマスク体験や車いす体験と同様に「知的障がい疑似体験」を小学校で実施していただければと思います。障がいがあるから「不幸」なのではなく、障がいに対する「偏見」があることが不幸なのだということをご皆さんに知っていただきたいです。



～あゆみ～

- 1968 (昭和43)年 「宝塚市手をつなぐ親の会」を結成
- 1996 (平成8)年 「社団法人宝塚市手をつなぐ育成会」に会名変更
- 2013 (平成25)年 第1回「育成会まつり」を開催
- 2015 (平成27)年 「宝塚すみれ隊」の活動を開始

一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会

住所：宝塚市安倉西4丁目1番7号
TEL：0797-86-9883
FAX：0797-86-9299
E-mail：takarazukaikuseikai@peace.ocn.ne.jp

「宝塚すみれ隊」についてのお問い合わせは上記まで

【津国・山本】

2016（平成28）年度 宝同協役員

役員名	名 前	所属・担当
会 長	わくありひこ 久 有 彦	—
副会長	うめだみさこ 梅 田 美 佐 子	総 務 担 当
	はやしじゅんこ 林 純 子	研 究 担 当
	すずきせつお 鈴 木 節 男	啓発・広報担当
部 長	おぎのまさのり 荻 野 雅 憲	会 計 担 当
	おぎのまさのり 荻 野 雅 憲	学 校 教 育 部
	かわにしたけのぶ 川 西 武 信	社 会 教 育 部
	もりもとみさこ 森 本 操 子	行 政 部
	しんたけひろ 新 谷 俊 廣	企 業 部
	おおにしとしえ 大 西 登 司 恵	校区人権啓発部

定期総会に192名が集う！

定期総会

2016年度の宝同協定期総会が5月19日にソリオホールで開催されました。192名のみなさんが出席され盛況に開会できました。

オープニングでは、韓国の伝統民謡や舞踊の芸能伝承者である呂英華さんをはじめ7名の方々による、美しい踊りと太鼓の演奏を披露していただきました。

和久会長による総会宣言ののち、議事が進行されました。昨年度の活動報告と会計報告に続いて、今年度の新役員の出選と活動方針案、予算案といった全ての議案が承認されました。今年度も活発で実りある活動が行われることを期待しています。

総会後には、「高齢者の人権」認知症を共に生きる」をテーマとした兵庫県人権啓発ビデオ「ここから歩き始める」を鑑賞して閉会しました。



オープニングの様子



学校教育課で貸出しています

呂 英華 さん ～プロフィール～

8歳から韓国伝統舞踊を習い、10代の頃よりプロ活動の実績を積み、芸術団の一員として日本公演にも参加。その後来日して「呂英華韓国伝統芸術院」を設立し、院生と共にプロ活動を展開する傍ら、京畿民謡の人間国宝である李春義先生に師事、日本在住者初の京畿民謡履修者となる。

また、晋州剣舞の人間国宝・成李玉先生との出会いを得て晋州剣舞を習得、これも日本在住者初の履修者試験合格者となり、民謡・舞踊共に資格を持つ韓国伝統芸能伝承者として、公演活動や後進の指導にあたっている。

阪同教研究大会

多数のご参加、ありがとうございました！

7月30日（土）、第63回兵庫県人権・同和教育研究大会阪神地区大会が、猪名川町文化体育館、猪名川町立中央公民館、猪名川町立猪名川中学校でおこなわれました。宝同協からは235名の参加があり、各分科会場では熱心な討議が行われ活気あふれる大会となりました。宝同協からの分科会発表者は下記のとおりです。

また、10月1日（土）～2日（日）に芦屋市で行われた兵人教研究大会では、御殿山中学校と小浜小校区人権啓発推進委員会が発表しました。そのうち、小浜小校区人権啓発推進委員会は11月26日（土）～27日（日）に大阪府で行われる全国教研究大会に兵庫県代表として選出されました。

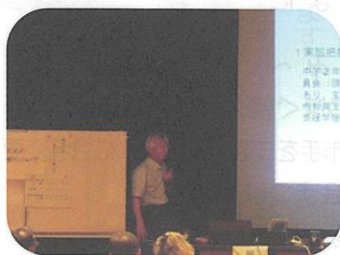
- 「心はずませ たくましく育つ 幼児の育成」～共に育ち合う異年齢のかかわりから～
宝塚市立良元幼稚園 福村 加奈子 さん
- 「心通い合う交流をめざして」
宝塚市立養護学校 中江 直子 さん
- 「学校での合理的配慮の取り組み」～障害者差別解消法に基づいた合理的配慮の取り組み～
宝塚市立御殿山中学校 江戸 義明 さん
- 「子どもたちの人権を守るための防犯・防災からのアプローチ」
宝塚市立長尾小学校育友会 下平 典子 さん
- 「私たちの生活（人権）と憲法」～知らないことを知るところから～
小浜小学校区人権啓発推進委員会 谷添 美也子 さん



良元幼稚園の発表



養護学校の発表



御殿山中学校の発表



長尾小学校育友会の発表



小浜小校区人権の発表

2歳から4歳までを第一次反抗期、11歳から14歳までを第二次反抗期と言われますが、子どもからすれば超のつく成長期ですね。この時期の成長は驚くほどのもので、特に小さいときは「うちの子、天才かも」と思われた親も多いことと思います。
問題は第二次反抗期ですが、この時期を「困りもの」と捉えるのではなく大きく伸びる成長期にするために、こんな家庭での十か条はいかがでしょうか。

- ① 遊べる事が伸ばすことになりません。
上に伸びるだけでなく、横の広がりを大切に。
- ② 失敗することが成長につながります。
失敗や過ちは、叱ることより訳を聞きましょう。
- ③ 手をかけるより目をかけましょう。
どこで何をしているか関心を持ちましょう。
- ④ 家族で会話できる場と時をつくりましょう。
子どものことでは意見を一致させておきましょう。
- ⑤ 家族で決めた約束事は守らせましょう。
もちろん親も子どもとの約束は守りましょう。
- ⑥ 人の嫌がることはさせません、言わせません。
全ての人に人権があることを分からせましょう。
- ⑦ 誉めたり、抱きしめることを躊躇しません。
一方でごまかしや裏切りは決して見逃しません。
- ⑧ 「早くしなさい」「はできるだけ言いませぬ。
早くしないと自分が困ることの体験こそ大切に。
- ⑨ 他の子や兄弟姉妹と比較しません。
それぞれのよさを認めてあげましょう。
- ⑩ あいさつは自分からできるようにしましょう。
あいさつは人と人の心のつながりになるのです。

【和久】

2016(平成28)年度 第6回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」のご案内

大会テーマ：『あなたに伝えたい、わたしの思い』

日時：2017（平成29）年1月21日（土）13:30～16:30（受付は13:00～）

場所：宝塚市立教育総合センター（宝塚市小浜1-2-1）

- 内容：○ 日頃の生活の中での悩みや差別、人権の問題について考えます。
○ お互いの立場を考えながら、自らの体験や意見を積極的に出し合います。
○ 自分自身が今、出来ることを考え、共に生きる社会の実現をめざします。

日程：全体会 13:30～14:00

- ・オープニング 徐 香淑（リハッパ）さんによるオカリナ演奏
- ・宝同協より ごあいさつと「つどい」の説明

分科会 14:10～16:30

どなたでも自由に
参加できます



昨年度の分科会の様子

	分科会名	報告者
第1分科会	子どもの人権について考える	石川 智昭 さん（株式会社 スイッチオンサービス）
第2分科会	部落差別について考える	平田 武二 さん（くらんど人権文化活動推進協議会）
第3分科会	障がいのある人との共生	早川 浩介 さん（小規模作業所 トラファルガー・スクエア）
第4分科会	在日外国人の人権を考える	< 交渉中 >
第5分科会	働くということ・学ぶということ	金野 凌真 さん（県立西宮香風高等学校3年）
第6分科会	さまざまな性について考える	中尾 勇守 さん（PROUD KANSAI）
第7分科会	インターネットによる人権問題を考える	< 交渉中 >
第8分科会	学校園における人権教育への期待	< 交渉中 >

第1回 宝同協 シンボルマーク マスコットキャラクター 作品募集

宝塚市人権・同和教育協議会では、わたしたちの日常生活や社会で、人権を大切にする思い合いの温もりや、やさしさ、未来への希望を表現した作品を募集します。人権の大切さを表わしたシンボルマークや、愛や夢がにじみ出たマスコットキャラクターのデザインをご応募ください。

- 募集期間 2016（平成28）年10月3日（月）～12月9日（金）
- 募集条件 宝塚市内在住、在学、在勤の方
インターネットを含む未発表、未投稿の自作作品、1人につき1作品
※アマチュアの方に限ります。
- 応募用紙 ハガキ、またはハガキ大の用紙
白黒、カラーどちらでも可
- 応募方法 ハガキの差出人欄に住所・氏名・電話番号・年齢を記入して、
下記まで郵送またはご持参ください。
ハガキ大の用紙の場合は、裏面に住所等記入
- 入賞 最優秀（3千円分の図書券）
優 秀（2千円分の図書券）
佳 作（1千円分の図書券） ※それぞれ数点
- 入賞発表 2017（平成29）年1月21日（土）
宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」にて行います。
- 審査 宝塚市人権・同和教育協議会
- その他
 - ・入賞作品の著作権、使用権その他一切の権利は、宝塚市人権・同和教育協議会に帰属します。
 - ・審査結果は入賞者のみお知らせします。
 - ・入賞作品は宝同協の印刷物やチラシ等で活用します。
 - ・活用にあたって一部修正変更する場合があります。
 - ・ご応募いただいた作品は、ご返却いたしません。
- 主催 宝塚市人権・同和教育協議会
- 応募先 宝塚市人権・同和教育協議会事務局
〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号（宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内）
TEL：0797-77-2040

解放文化祭の

お知らせ

まいだに解放文化祭

両日とも作品展示、パネル展示、模擬店 など

11月10日(木) 9:00~21:00

ヨーガ体験、手編み体験コーナー など

11月11日(金) 9:00~19:00

人権講演会「変化する社会情勢と人権問題～部落差別の現状をふまえて～」

講師：北口 末広さん（近畿大学人権問題研究所主任教授）

お問い合わせ：まいだに人権文化センター ☎84-4461

◇ 編集後記 ◇
今号では「宝塚すみれ隊」の啓発活動について紹介させていただきました。このように今年度も『芽生え』では、さまざまな団体の取り組みや人権・同和に関する各種催し、研究大会などを広く紹介していきます。
また今号から全ページカラーの紙面になりました。より読みやすく、学校や家庭、職場で「人権」について考えていただける紙面をめざして発行していきます。

くらんど解放文化祭

作品展示、喫茶コーナー、出店 など

10月27日(木) 9:40~21:00

幼児おはなし会、わくわく子どもフェスティバル など

10月28日(金) 9:40~20:30

加マチカ-モカ奏者 南里沙さんの演奏、太鼓演奏 など
人権問題講演会「虐待の淵を生き抜いて」
講師：島田 妙子さん（一般財団法人児童虐待防止機構理事長）

お問い合わせ：くらんど人権文化センター ☎73-2222

ひらい解放文化祭

作品展示、お楽しみコーナー、出店 など

11月11日(金) 9:00~20:30

人権・同和問題講演会「人権の視点から見る『もののけ姫』」
講師：富田 稔さん（天理大学 講師）
平井保育所太鼓演奏、おはなし会、絵てがみ教室 など

11月12日(土) 9:00~20:30

人権わくわく学級の発表、南ひばりガ丘中絵画展示など

お問い合わせ：ひらい人権文化センター ☎88-2795

宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子（編集委員長）・鈴木 節男・梅田 美佐子
赤井 博和・木山 達雄・中山 琢也・池澤 径子
安達 みづほ・大塚 亜紀・和久 有彦・山本 悠